

國學院大學学術情報リポジトリ

国学研究会

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-07-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000619

国学研究会

日本文化研究所では、研究プロジェクト「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の成果公開とデータベース再構築」の一環として、2021年度も国学研究会を開催した。

この研究会は、日本文化研究所の神道・国学部門が長年行ってきた研究会を継続するものであると同時に、上記研究プロジェクトの3本の柱である「近世・近代国学史像の再構築の発信」「国学・神道関係人物データベースの拡充」「国学研究のネットワークの拡張」と関連させた研究会である。過年度の国学研究会では若手研究者の研究成果の発表と共有を目的として開催し、また学内外の若手研究者を招いて交流することによって、とりわけ第3の研究ネットワークの拡張も企図していた。すなわち、原則として月1回程度、学内はもとより、学外からも神道・国学などを研究する若手研究者を招いて、各自の最新の研究成果について発表してもらうのが通例であった。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、2020年度中の刊行を計画していた「国学入門書」の編集・刊行が上記研究プロジェクトに引き継がれたため、本年度の国学研究会では、2020年度の第4回国学研究会(武田幸也「国学概説書 第12章 1875～1890年の国学」)に続く形でより大規模な「国学概説書執筆者会議」を行い、これまでに拡張してきた研究ネットワークに基づく国学史像の再構築を進めた。

以下、本年度に開催された研究会の日時と発表者、発表題目である。

第1回 2021年4月14日 18:30～20:00
松本久史「はじめに 本書での国学の概念と、通史として叙述する意義」、同「第1章 国学成立の前提」、武田幸也「第12章 明治8年から23年まで」

第2回 2021年5月12日 18:30～20:00
齋藤公太「第2章 1665年から元禄期まで」、松本久史「第4章」、同「第5章」、一戸渉「第6章 安永・天明期 多様化する国学」、同「第7章 寛政期 復古の諸相」、三ツ松誠「第10章 ペリー来航後、慶応三年まで」

第3回 2021年6月15日 18:30～20:00
小田真裕「第9章 天保からペリー来航まで」、問芝志保「第13章 「新国学」の提唱」、木村悠之介「『国学』史研究の近現代」

これらの検討を経て、国学概説書は『歴史で読む国学』の題名で年度末に刊行されるに至った。詳細は当該トピックを参照されたい。

(木村悠之介)